

様式第2号(第5条関係)

[illegible]

1 「提出年月日」欄

- ・ 申告書の提出年月日を記入してください。(郵送の場合は、発送年月日を記入してください。)

2 「申告者(特別徴収義務者)」欄

- ・ 特別徴収義務者となる宿泊施設の経営者について、個人の場合は住所、氏名、12桁の個人番号(マイナンバー)、電話番号を記入してください。
- ・ 法人の場合は所在地、名称、13桁の法人番号、電話番号を記入してください。
- ・ 実質的経営者である旨の申立をする場合は、申立者が記入してください。

3 「宿泊施設」欄

- ・ 宿泊施設の所在地、電話番号、名称を記入してください。
- ・ 「設備の概要」欄には、消防署への届出や建築確認申請書等から、現在の施設の客室数、収容人数、延床面積、階層数を記入してください。
- ・ 「経営開始(予定)日」欄には、施設の経営開始日または開始予定の日を記入してください。

4 「旅館業法の許可又は住宅宿泊事業法の届出」欄

- ・ 「営業種別」欄には、宿泊施設の該当する種別に○を付けてください。
- ・ 「許可番号(届出番号)」欄には、旅館業法の場合は、経営許可証に記載されている番号を記入してください。住宅宿泊事業法の場合は、標識に記載されている届出番号を記入してください。

5 「書類送付先」欄

- ・ 富士河口湖町宿泊税担当から書類を送付する際、「申告者(特別徴収義務者)」欄の住所・氏名とは異なる宛先への送付を希望する場合に記入してください。記入の際は担当部署名まで記入してください。

6 「備考」欄

- ・ その他、宿泊税に関する窓口として情報がございましたら記入してください。

例・部署内で担当者が複数いる場合の役職、氏名

・ 直通の電話番号

・ 吸収合併による新規登録の場合の前事業者の法人名 等